

「西條」

令和7年度 第3号

2学期を振り返って

早いもので、今年も残すところあと僅かとなりました。2学期を振り返ると、運動会、学校祭をはじめ、様々な行事が行われました。

運動会では、各団の3年生が中心となり、応援合戦の構成や応援マスコットの制作等、早くから準備を進めてきました。その後、1、2年生が加わって団活動が始まり、3年生は後輩に応援の振付や応援歌を優しく丁寧に指導していました。1、2年生も、3年生の思いに応えようと、夏の日差しに負けず、一生懸命に練習に取り組んでいました。運動会当日、「Advance to the Top ～仲間を信じて頂点へと突き進め～」のテーマの下、生徒一人一人が全力を尽くし、仲間と力を合わせて競技・演技に臨みました。互いを励まし合い、支え合いながら挑戦することで、生徒たちは勝敗以上に大切なものを学ぶことができたのではないのでしょうか。



学校祭では、全校生徒が合唱コンクールに向けて練習に励みました。練習の過程では、思うようにいかず、意見がぶつかることもあったと思います。しかし、互いの意見を尊重し合い、力を合わせながら練習を重ねることで、それぞれの学級がよりよい合唱を創り上げることができました。本番では、各学年・各学級が心を合わせ、素晴らしい歌声を体育館いっぱいに響かせてくれました。生徒たちは、合唱を通して、協力することや最後までやり抜くことの大切さを感じることができたと思います。



生徒たちには、これら経験を通して培った「協力」「努力」そして「感謝」の心を、これからの学校生活や学習活動にも生かして行ってほしいです。

挑戦し続けること

さて、2学期も終わりを迎え、1月からは3学期です。3年生にとって、本格的な受験シーズンが始まります。また、1、2年生にとっても、1年間の学習の集大成の時期となります。生徒たちには、学習や部活動等に一層打ち込んでほしいと思います。

先日、授業で、生徒たちに「挑戦すること」について話をする機会がありました。そこで、生徒たちに「成功の反対は何か」と尋ねました。国語の授業で反対語として習うのは「失敗」です。しかし、社会的な考え方をすると、答えは「失敗」ではありません。成功の反対は「何もしないこと」です。私は英語を教えており、英語の上達のコツは、「間違ってもいいので、失敗を恐れず、積極的に英語を使うこと」だと、常日頃から指導しています。中学生になると、小学生のころより積極性がなくなったと言われることがよくあります。それは、人前で失敗したくない、失敗をしてはいけないと思うようになるからです。しかし、失敗を恐れて消極的な生活をしていると、学校生活や授業から得るものは少なくなってしまいます。人は特に若いうちにこそ、失敗を重ねるべきだと思います。生徒たちは、これから何度も何かに挑戦する機会をもつことになります。失敗を恐れず、失敗しても、そこから謙虚に学び、挑戦し続け、夢や目標の達成につなげてほしいと願います。

■アクションプランの取組から

11月末に行われた学校評価アンケート（生徒用）の結果をお知らせします。ほとんどの項目で、1学期よりも「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した生徒の割合が高くなりました。

